

■コメント

1 伝染性紅斑

定点当たり1.14人の報告があり、全国でも増加傾向です。約10～20日の潜伏期間の後、微熱やかぜ症状で始まり、その後、両頬に紅い発しん(紅斑)が現れます。自然軽快することがほとんどですが、妊娠中に感染すると胎児水腫や流産を引き起こす可能性があるため、妊娠中は、かぜ症状がある方との接触をできる限り避けましょう。

2 百日咳

23件の報告があり、今年の累計は154件となりました。

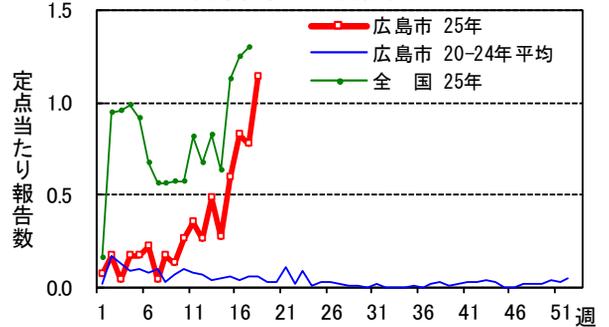
3 RSウイルス感染症

定点当たり0.95人の報告があり、前週に引き続き増加しました。おもちゃや手すりなど手の触れる部分の消毒や手洗いの励行、咳エチケットなど、感染予防対策を心がけましょう。

4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり3.45人の報告があり、多い状況が続いています。手洗い、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

伝染性紅斑の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	増減			
												急増減	増減	微増減	横ばい
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	2217	65.21	/	→	小児科	突発性発しん	5	0.23	0.31		急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減	
	インフルエンザ	17	0.50	0.66	↓		ヘルパンギーナ	-	-	0.05		増減	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減	
	新型コロナウイルス(COVID-19)	21	0.62	/	↔		流行性耳下腺炎	-	-	0.03		微増減	↔	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減	
小児科	RSウイルス感染症	21	0.95	0.50	↔	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-		横ばい	↔	ほとんど増減なし	
	咽頭結膜熱	14	0.64	0.32			流行性角結膜炎	7	0.88	0.95			基幹	細菌性髄膜炎	-
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	76	3.45	0.74	↔	無菌性髄膜炎	-	-	-		マイコプラズマ肺炎	8		1.33	-
	感染性胃腸炎	200	9.09	3.26	↔	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	5		0.83	0.06
	水痘	5	0.23	0.10											
	手足口病	1	0.05	0.34											
	伝染性紅斑	25	1.14	0.06	↔										

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症(ARI) 定点数(内科・小児科)	34
小児科 定点数	22
眼科 定点数	8
基幹 定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	41	60歳代・1人、80歳代・2人
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	4	30歳代・O血清群不明
4	E型肝炎	1	2	50歳代
4	A型肝炎	1	3	30歳代
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	17	70歳代
5	梅毒	4	46	20歳代・2人、50歳代・2人
5	百日咳	23	154	10歳未満・7人、10歳代・10人、40歳代・4人、60歳代・1人、70歳代・1人

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	報告地	週	感染症発生動向調査に基づく病原体定点医療機関からの搬入分(ARI分を除く)のみ掲載																			
			急性呼吸器感染症 (ARI)	インフルエンザ	新型コロナウイルス (COVID-19)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)
報告数	広島市	第14週	-	12	47	16	3	37	242	2	-	6	5	-	-	-	8	-	-	3	-	8
		第15週	1,773	11	46	14	5	42	294	3	1	13	2	-	1	-	8	-	-	7	-	11
		第16週	2,045	54	36	10	6	73	267	2	2	18	7	1	-	-	10	-	-	5	-	7
		第17週	2,307	34	25	18	13	81	243	1	2	17	4	1	1	-	11	-	-	3	-	2
定点当たり	広島市	第14週	-	0.35	1.38	0.73	0.14	1.68	11.00	0.09	-	0.27	0.23	-	-	-	1.00	-	-	0.50	-	1.33
		第15週	53.73	0.32	1.35	0.64	0.23	1.91	13.36	0.14	0.05	0.59	0.09	-	0.05	-	1.00	-	-	1.17	-	1.83
		第16週	60.15	1.59	1.06	0.45	0.27	3.32	12.14	0.09	0.09	0.82	0.32	0.05	-	-	1.25	-	-	0.83	-	1.17
		第17週	67.85	1.00	0.74	0.82	0.59	3.68	11.05	0.05	0.09	0.77	0.18	0.05	0.05	-	1.38	-	-	0.50	-	0.33
全国	第16週	56.68	1.20	1.77	0.85	0.32	2.65	8.54	0.37	0.07	1.25	0.30	0.02	0.06	0.06	0.95	0.01	0.02	0.30	0.01	0.24	
	第17週	62.18	1.09	1.39	0.72	0.39	2.83	8.39	0.48	0.10	1.30	0.36	0.03	0.09	0.04	0.91	0.01	0.04	0.28	-	0.18	

■ 新たに判明した病原体検出状況

感染症発生動向調査に基づく病原体定点医療機関からの搬入分(ARI分を除く)のみ掲載

診断名	主症状	年齢	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(39.9°C) 鼻炎	4	2025/03/19	鼻汁(拭い液)	インフルエンザウイルスA(H3)型
感染性胃腸炎	発熱(38.5°C) 嘔吐 下痢 腹痛	6	2025/02/26	糞便	ロタウイルス ノロウイルスG2

(検査: 広島市衛生研究所)

■ 病原体検出状況(ARIサーベイランス)

感染症発生動向調査に基づくARI病原体定点医療機関からの搬入分のみ掲載

検体採取週	検査検体数	陽性検体数*	A(H1N1)2009型	インフルエンザウイルスA(H3)型	インフルエンザウイルスB型(山形系統)	インフルエンザウイルスB型(ヒクトリア系統)	新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)	A型RSウイルス	B型RSウイルス	ヒトメタニューモウイルス	パラインフルエンザウイルス1型	パラインフルエンザウイルス2型	パラインフルエンザウイルス3型	パラインフルエンザウイルス4型	ライノウイルスノ	エンテロウイルス	アデノウイルス
第15週	7	5					3			1							3
第16週	14	10	2				2	2		1							4
第17週	14	10	1				2			2			1			4	3

* 同一検体からの複数ウイルス検出例を含む

(検査: 広島市衛生研究所)

★ 麻しん(はしか)について

国内で、麻しんの海外からの輸入例や、輸入例からの感染事例の報告が続いており、注意が必要です(全国の今年の累計96件、第17週現在)。

麻しんは、麻しんウイルスによって引き起こされる感染症で、感染力は極めて強く、空気感染・飛沫感染・接触感染によって感染します。感染すると、約10~12日後に、発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。38度前後の発熱が2~4日間続いた後、39.5度以上の高熱と発疹が出現します。患者1,000人に1人の割合で脳炎を発症すると言われており、先進国であっても1,000人に1人が亡くなる病気です。

最も有効な予防法はワクチン接種です。こどもの定期予防接種は忘れずに受けましょう。また、海外渡航の際は、事前に予防接種歴を確認し、2回接種していない方は、予防接種を受けることを検討しましょう。

麻しんが疑われる症状が見られた場合は、医療機関に電話連絡の上、公共交通機関の利用は可能な限り避けて受診しましょう。

【参考】

海外における麻しん(はしか)の流行について(広島市)

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/medical/1021213/1027974/1023001.html>

麻しんについて(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekakaku-kansenshou/measles/index.html



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/eisei/1003071/index.html>



【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp